

高卒生枠 募集要項

1. 指導体制のあらまし
2. 指導の特徴——指導 4 本柱
3. 塾の施設について
4. 受講料のシステム

己と向き合い、早期に超克し、そして跳躍する。

【現役時の甘さを早期に克服する】

7割くらいでいいだろう、この程度の演習でいいだろう、という「～だろう」という甘さを消して、得点に貪欲になることです。そのための努力の道筋と授業における徹底した修正と鍛え上げを実施します。講義と徹底した鍛錬指導により、塾全般の指導が腹を括った覚悟と真剣に向き合うクラスです。

【質と量を追求し、結果にこだわる】

既卒生として、「専攻受験生」となった以上、その生活においては、徹底した学習の質と量の確保が生業となります。来たるべき目標（志望校合格）に向けて、不断の努力を追求してください。そして、きちんと結果に向き合うこと。結果に向き合って克服の機会が多ければ多いほど、志望校は間近になる。その過程にしっかりと向き合う姿勢を育て、最後まで受験生を支えます。

ご注意事項：大手予備校等の高卒生クラス等とは、かなり異なるシステムになっています。あらましをご一読の上、ご不明な点等はお問い合わせください。また、事前に入塾相談を必ず実施させていただいております。

指導体制のあらまし

● 各人別の学習スケジュールの設計

少人数に絞り、徹底したコミュニケーションを密に行いながら、短期、中期、長期それぞれの観点から、一人一人に最適な学習方針を組み立てます。使うべき教材や授業方針、時間の使い方などについて、随時修正を繰り返し、時機に応じたスケジュール管理を実施します。

● 授業から自習の密な連携

授業は授業で「自習は君たちにおまかせ」というスタンスは取りません。直接授業を担当する講師陣が、授業で向き合った弱点を、即補強し、得点に変える連携した自習指導を行います。

● 絶対的な演習量の確保

既卒生は、「現役時の演習不足」を肝に銘じ、能動的かつ意識的に演習量を確保すべきです。授業と連携しながら、タスクとして演習量を確保します。

● 得点には常にシビアに向き合う

「7割くらいでいいだろう」「このくらいやればいだろう」「明日でいいだろう」これらの「だろう」は甘えです。どこまでも自分と客観的に向き合い、向上を目指す姿勢が必要です。ときにはうまく行かなくて地団駄を踏むことはあれど、歩みは止めない。西萩塾では、こうしたメンタルの強さも、コミュニケーションを密に図りながら、しっかりと築いていきます。

※毎週個別面談の時間を設計します。

● いつでも自習室が確保されています。

年中無休で朝7時から午後10時まで自習室を利用可能です。また、高卒生は、本棚を支給しますので、学習道具は、塾に置いておくことができます。

入塾面談

志望校・現役時の取り組みや成績状況などを付き合わせながら、1年間の方針を面談します。

体験授業・学力診断

入塾面談の結果を前提として、複数回の個別授業（体験）及び学力診断を実施します。

● センター試験から「共通テスト」への移行対応

2020年度の既卒生は、センター試験から共通テストへの移行に伴い、問題形式が変わります。問われる内容についてはそれほど大きな変化はなく、基礎力の測定が原則の試験にはなりますが、形式に慣れておく必要はあります。

したがって、2020年度の既卒生においては、4月に共通テストの形式に慣れていたいただくための指導を取り入れます。

● 開講科目

英語・数学・国語（現代文・古文・漢文）

物理・化学・生物（基礎科目を含む）

世界史・日本史・地理

※授業は、その都度最適なカリキュラムの調整を施しながら、少人数による問答を盛り込みながらのライブ授業です。

※社会のみ、基礎（通史・地誌・系統地理）部分においてオンデマンド（映像）による授業（知識を早急に固めるため、ペースメイクしながら高速で周回していただきます）とそれに連関したライブ（演習・論述添削等）による授業を併用して効果的に知識の詰めを行います。

授業設計・自習設計

授業及び自習方針の設計を行います。この段階で、課題や自習教材をお渡しします。既にお持ちの教材なども活用します。

塾内設備のご説明

塾内設備や演習システムの利用方法などのご説明を行います（その日から塾の学習利用が可能です）。

三者面談

当塾での方針や自習の取り組み、短期・中期・長期での見通しなどを面談します。※同日、ご契約手続を実施します。

年間計画（授業）について（全志望型対応）

各科目45分～90分の授業を1週間に各科目2～4回、さらに必ず1対1の個別指導も行いながら、授業前の予習・自習状況の把握のうえに、生半可な理解がみられる箇所、演習が足りない箇所、知識不足が露見している箇所を洗い出し、授業後即時修正を加えていただきます。そして、授業後にその内容を血肉化してもらうため、自習室等を利用して徹底した演習指示を与えます。学習指針について、現状をつぶさに分析しながらの随時の補正、追加が特徴です。

（時間割の例は、下記をご参照ください。（個）とは、個別指導の時間です。また、授業のない時間に、自習指導を行います。）

【4月・5月】 原理原則に忠実に・理解を支えられた知識の整理

現役の受験時に、それぞれの形で詰め込みをした「知識」に「正確な理解」という裏付けを早期に行います。せっかく詰め込んだ知識を今度は糧に変えることが目標です。★5月に合宿（2泊3日）を行い、受験生同士の結束と4月に詰めた知識の総括を図ります。

【6月・7月】 演習不足の解消と密度の濃さを追求する鍛錬期間

模試の自己採点等を踏まえ、科目別に徹底演習指導を実施します。当塾では、詰め込み期間と呼んでおりますが、4月～5月の原理原則の理解をもとに、時間を短めに区切り、かなりの演習課題を課します。日々コミュニケーションを取りながら、進捗を確認、ハッパがけや効率のよいやり方など、それぞれに合わせて伴走指導を行います。講師とチームを組み、友人と切磋琢磨。めざましい精神力の成長を目の当たりにする時期です。

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
英作文（個）	難関数学1		個別面談	七国語	難関数学2
		英文解釈	英語演習	数III（個）	
物理1	七地理	物理2		理論化学	無機化学

【国公立理系志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学1		個別面談		英語長文
英作文（個）	現代文論述	英文解釈	英語演習	難関数学2	世界史2
	世界史1		古典記述	理科基礎	

【国公立文系志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学1			数学重点演習	難関数学2
数学演習1	数学演習2	英文解釈	個別面談	英文法語法	英語特訓
				理論化学	無機化学

【私立理系（化学選択）志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
古文	難関数学1		国語演習	数学重点演習	難関数学2
私大現代文		英文解釈	個別面談	英文法語法	英語多読演習
	漢文				

【私立文系（数学選択者）志望者】の6月までの授業例

【夏期講習～9月】 志望校への照準を定め、実戦的な演習へ

7月までに詰めた知識や演習の2周目、3周目に入ります（反復は極めて重要）。ただ漠然とはではなく、確かな方法をコミュニケーションを取りながら効率よく行います。また、それらの知識を点につなげることで、すなわち、過去問などスコアが客観的に把握できる形で演習を積み、秋以降の模試で判定を出すことにこだわっていきます。この段階で志望校へ向けた確かな照準が定まることがポイントになります。★9月に強化合宿（2泊3日）を行います。

【11月まで】 攻守のバランスを取りながら着実に得点を伸ばす

スコアを常に意識しながら、各種模試および塾内での過去問、演習を活用しながら、抜け穴を一つ一つ埋め、同時に「攻め」となる強みを一挙に伸ばします（反復すべき教材の指示も具体的に与えます）。攻守のバランスを取りながら、完成へ進みます。この頃には、勉強していないと落ち着かない、という机についてひたすらに努力をすることが苦にならない受験生になるはずですが。

【直前】 総仕上げは、徹底した復習にある。

最適な受験戦略を練りながら、志望校を絞り込み、あとはそこへ向けて一直線に進みます。直前だからと変わったことをする必要はありません。これまでの歩みが確かに軌跡として描かれていますので、自ら積み上げてきたものを何度も何度も復習し、確固たる自信と得点力を築きます。授業では、これまで各人別に記録してきた弱点などを中心に、最終確認と強化まで徹底して行います。

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
志望別英語（個）	志望別数学（個）		個別面談	選択科目	難関数学2
		英語演習		志望別理科（個）	
物理演習		物理		化学演習	有機化学

【国公立理系（または早慶）志望者】の9～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
英作文	難関数学1	古典論述（個）	個別面談		多読英語長文
志望別英語（個）	現文論述（個）	英文解釈	英語演習	志望別数学（個）	世界史演習
	世界史			選択科目	

【国公立文系志望者】の9～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学		物理1	物理2	私大数演習
志望別数学（個）	志望別英語（個）	英語演習	個別面談		理数特訓
多読英語長文					物理重点演習

【私立理系（物理）志望者】の9～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
志望別古典（個）	志望別現文（個）		志望別英語（個）		多読英語長文
	国語特訓		英文解釈	個別面談	英語知識総整理
	世界史演習1				世界史演習2

【私立文系（世界史選択）志望者】の9～11月の授業例

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」—いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

ご検討の方へ

■ 定員は 10 名程度

現在の学力より、意思を重視します

現在、高卒生クラスは、10名程度に定員を設定し、定員が充足した段階で締め切っております(2017年は4月、2018年は3月で締め切りました)。

大手予備校等の高卒生クラス等との違いは多数あれど、徹底したコミュニケーションに基づき、綿密な指導を行うためです。

そのため、ご入塾を希望される場合には、恐れ入りますが、入塾相談および入塾審査を実施させていただきます。

まず、重視するのは、ご本人自身のリベンジの意思と、志望校への確かな情熱です。表に表す必要はなく、内に秘めた確かなものがあるかを、丁寧に相談の上、確認させていただきます。その結果、入塾可能と判断した場合には、その時点での学力レベル、理解度などをテストした上で、具体的な年間のスケジュールなどを提示いたします。ご納得いただいた上でご入塾ください。

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。

たとえば、数学の答案。正解までの道筋そのものが問われる数学で、その過程をどのように組み立てたか、それこそが合否の要となります。また、いわゆる「自由英作文」。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削なくしては無理でしょう。

生徒の答案に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのか。私たち、西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまでチェックをいれます。もちろん、講師はその結果をすぐに活用しながら、当日の授業を組み立てます。答案作成→添削→授業のシームレスな連携こそ、「答案で決める」ための必須指導です。

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

「自習なくして、結果は伴わず」。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。口でいうのは簡単ですが、本当に自習は合否を左右します。西荻塾既卒コースの目玉指導の一つです。

塾のシステムについて

■ 常設自習室完備

毎日でもご利用ください



■ 演習システム整備

小テスト・演習はいつでも可能

西荻塾では、生徒用の演習システムを整備しています。授業中には、各種小テスト等が実施されますが、準拠教材をベースに、独自データベースアプリを構築し、出力できるようにシステムを構築しています（当塾でプログラムを組んでいます）。このアプリを操作し、自由に生徒が小テストを作成し、演習できるようになっています。単語テストや英文法、計算テストなど、コツコツと積み上げていただけます（利用料無料）。また、各種入試問題のデータなども多数収録しておりますので、いつでも出力の上、演習することが可能です。

■ 強化合宿（5月・9月）

知識の総括と仲間との紐帯を築く

既卒生は、5月及び9月に奥多摩セミナーハウスにて、強化合宿を行います。おなじ教室で切磋琢磨する仲間たちとの紐帯を築きながら、違った空間でより密度の高い演習を行い、勉強に必要なメンタルを鍛えます。

5月の合宿でできた友達関係は、ともに1年を走り抜くだけでなく、一生の友人になる、という話も卒業生から聞いています。ともすれば孤独な浪人生活ではありますが、西荻塾では、できる限り仲間と切磋琢磨する空間作りを重視しています。

※合宿の費用は、年間（月間）費用に含まれています。

■ リスニングの練習環境整備

日々の積み重ねができる設備

共通テストではリスニングの配点が大きくなり、対策の比重も大きくなります。力をつけるには、授業で学んだことを日々トレーニングすることが第一です。西荻塾では、リスニング練習ができる専用のスペースを準備しており、シャドーイング等の発声を伴う練習も可能です。入試問題を始め、よりレベルの高い素材も準備し、数多くのトレーニングをこなせる環境を整えています。

受講料のシステム

■ 高卒クラス／費用（税抜表示）

1ヶ月ごとの諸費用は次の通りです。

対象学年	受講講座数	授業形式	受講料
高卒	3科目まで	個別／少人数	72,000円
	4科目以上	個別／少人数	93,000円

※在籍期間は、4月～2月となります。

※受験科目が3科目までと4科目以上で授業回数異なりますので、それに応じて費用が変わります。

※1、2月は受験スケジュールを勘案し、授業を前倒しして実施する等の対応を取る場合があります。

※月額費用を一括で前納することができます。その場合は、以下の通り割引が適用になります。

半期一括（2%割引）	年間一括（3%割引）
388,080円	768,240円
501,270円	992,310円

※一括前納の場合は総額3%の割引となります。

※高3時に在塾していた場合は、上記の受講料から、3%の割引となります。

※AO等で早期合格になった場合は、月割り精算のうえ、差額はご返金いたします。

● そのほかにかかる費用（税抜表示）

・入塾金 30,000円

※ご紹介の場合は、20,000円割引となります。

※現役在塾生のある方は不要です。

・教材費（年間一括）10,000円／1科目

※教材費は、テキスト代に充当します。

※科目、とは、英語、数学、理科、国語、社会の区別をいい、その細分については、科目とはいたしません。（英文法と英文解釈を受講しても、英語1科目とします）

・指導充実費（施設維持費等）

前期（4月～8月末） 30,000円

後期（9月～2月末） 30,000円

※3月分は不要です。

※自習室維持費、教室運営費等のほか、授業外の時間帯を利用した自習指導、随時の進路相談等が含まれています。

※年間一括納入することもできます。

●春期、夏期、冬期の季節講習会期間の、追加費用は不要です。また、年2回の合宿費用が含まれています。

■ 個別指導（授業4回あたり） ※上記既卒コースの場合は、不要です。

スポット（メインが他塾の場合の併用形態）に西荻塾をご利用の場合

対象学年	授業時間（分）	授業回数	受講料
高卒	完全個別 90分	4回あたり	30,000円
	クラス併用割引 ※上記より4,000円引		
	完全個別 60分	4回あたり	22,000円
	クラス併用割引 ※上記より2,890円引		

●完全個別とは、授業時間すべて1対1（マンツーマン）による授業です。講師が他の生徒を担当しながらという形式ではありません。

●受講料は、1ヶ月あたりの受講回数によって決定します。上記金額は、1ヶ月に90分授業を4回授業を実施した場合の金額であり、実際には、実施回数によって均等割で計算します。

西荻塾（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南 3-9-11 フロンティア EXビル3階
（JR西荻窪駅南口徒歩1分）

TEL 03-3334-5415 mail: office@nishiogi-juku.jp